



2026年6月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2026年2月13日

上場会社名 澁谷工業株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 6340 URL <https://www.shibuya.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澁谷 英利

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 宮前 和浩

TEL 076-262-1201

半期報告書提出予定日 2026年2月13日

配当支払開始予定日

2026年3月17日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年7月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期中間期	63,063	0.9	5,056	31.4	5,311	28.1	4,023	21.1
2025年6月期中間期	62,508	21.6	7,373	51.0	7,384	53.1	5,100	49.6

(注) 包括利益 2026年6月期中間期 5,029百万円 (8.0%) 2025年6月期中間期 5,468百万円 (61.5%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期中間期	145.43	
2025年6月期中間期	184.36	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年6月期中間期	160,314	111,574	69.6	4,032.58
2025年6月期	159,426	107,930	67.7	3,900.84

(参考) 自己資本 2026年6月期中間期 111,566百万円 2025年6月期 107,921百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期		45.00		50.00	95.00
2026年6月期		47.50			
2026年6月期(予想)				47.50	95.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年 6月期の連結業績予想(2025年 7月 1日～2026年 6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	133,000	3.1	13,000	5.4	13,200	4.2	9,300	7.5
								336.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(中間期)

2026年6月期中間期	28,149,877 株	2025年6月期	28,149,877 株
2026年6月期中間期	483,606 株	2025年6月期	483,519 株
2026年6月期中間期	27,666,280 株	2025年6月期中間期	27,666,565 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。よって、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
3. その他	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、個人消費や設備投資の持ち直しなどにより国内景気は緩やかな回復が見られるものの、構造的な人手不足を背景とした人件費の上昇や原材料価格・エネルギーコストの高騰に加えて、米国の関税政策による世界経済の不確実性など、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

このような状況のなか、当社グループの当中間連結会計期間の売上高は630億63百万円（前年同期比0.9%増）となったものの、損益面については、メカトロシステム事業および農業用設備事業が減益となったことから、営業利益は50億56百万円（前年同期比31.4%減）、経常利益は53億11百万円（前年同期比28.1%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は40億23百万円（前年同期比21.1%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[セグメント別の売上高]

(単位：百万円)

セグメントの名称	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	対前年同期比
			%
パッケージングプラント事業	36,041	42,177	+17.0
（酒類用プラント）	(1,346)	(2,268)	(+68.5)
（食品用プラント）	(27,531)	(29,354)	(+6.6)
（薬品・化粧品用プラント）	(6,162)	(9,145)	(+48.4)
（その他）	(1,000)	(1,410)	(+40.9)
メカトロシステム事業	20,310	15,745	△22.5
農業用設備事業	6,155	5,140	△16.5
合 計	62,508	63,063	+0.9

(パッケージングプラント事業)

パッケージングプラント事業の売上高は、酒類用プラントは清酒充填システムが増加し、食品用プラントは国内向け飲料無菌充填システムが減少したものの、中国・東南アジア向け飲料無菌充填システムが増加し、薬品・化粧品用プラントは注射薬バイアル充填システムやタイ向け自動細胞培養システムが増加したことから、前年同期に比べ増加しました。

その結果、売上高は421億77百万円（前年同期比17.0%増）となりましたが、損益面については、顧客ニーズによりターンキー受注が増加し、受注案件毎に施工範囲が増減するなか、周辺装置となる他社製品をプラントに組み込む割合が増加することで原価率が高まったことから、営業利益は65億24百万円（前年同期比6.5%増）と微増に留まりました。

(メカトロシステム事業)

メカトロシステム事業の売上高は、半導体製造システムはEVやスマートフォン向けの需要回復が遅れていることから減少し、また医療機器は部品の一部不足による減産が影響したことから、前年同期に比べ減少しました。

その結果、売上高は157億45百万円（前年同期比22.5%減）、営業損失は26百万円（前年同期は営業利益15億10百万円）となりました。

なお、医療機器の部品不足はほぼ解消しており、当中間連結会計期間までの減産分を補うべく、増産体制を構築中です。

(農業用設備事業)

農業用設備事業の売上高は、落葉果樹類向けおよび蔬菜類向け選果選別プラントが減少したことにより、前年同期に比べ減少しました。

その結果、売上高は51億40百万円（前年同期比16.5%減）となり、損益面については、減収に伴う操業度の低下に加えて、新本社工場の完成に伴う償却負担の増加も影響したことから、営業損失は2億4百万円（前年同期は営業利益8億69百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ8億88百万円増加し、1,603億14百万円となりました。有利子負債については、前連結会計年度末に比べ4億53百万円減少し、32億43百万円となりました。純資産については、前連結会計年度末に比べ36億44百万円増加し1,115億74百万円となり、自己資本比率は69.6%となりました。

② キャッシュ・フローの状況に関する分析

当中間連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況については次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、36億63百万円の資金減少(前年同期は1億56百万円の資金増加)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益が57億48百万円となり、非資金項目である減価償却費16億25百万円による資金増加があったものの、売上債権及び契約資産の増加額36億6百万円、棚卸資産の増加額28億90百万円、未払金及び未払費用の減少額25億28百万円および法人税等の支払額21億82百万円による資金減少があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、78億55百万円の資金減少(前年同期は35億62百万円の資金減少)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出52億27百万円および有形固定資産の取得による支出31億94百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、18億37百万円の資金減少(前年同期は21億14百万円の資金減少)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出4億53百万円および配当金の支払額13億82百万円があったことによるものであります。

これらの結果、当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より130億14百万円減少し322億77百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年8月13日付で公表した連結業績予想の内容に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	45,579	37,577
受取手形、売掛金及び契約資産	28,362	31,949
電子記録債権	9,846	10,057
製品	302	403
仕掛品	10,598	13,066
原材料及び貯蔵品	6,491	6,992
その他	4,415	4,187
貸倒引当金	△22	△24
流動資産合計	105,574	104,210
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	24,343	23,754
機械装置及び運搬具(純額)	2,816	2,753
土地	14,272	14,280
建設仮勘定	741	2,587
その他(純額)	1,635	1,952
有形固定資産合計	43,810	45,328
無形固定資産		
その他	538	503
無形固定資産合計	538	503
投資その他の資産		
投資有価証券	3,639	4,586
退職給付に係る資産	5,148	5,200
繰延税金資産	230	31
その他	503	474
貸倒引当金	△19	△19
投資その他の資産合計	9,502	10,273
固定資産合計	53,852	56,104
資産合計	159,426	160,314

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,629	16,167
電子記録債務	2,778	3,234
短期借入金	907	907
未払法人税等	2,272	1,671
未払費用	6,784	4,334
契約負債	11,314	11,232
賞与引当金	508	516
受注損失引当金	71	44
製品保証引当金	48	43
その他	1,407	1,791
流動負債合計	42,723	39,944
固定負債		
長期借入金	2,789	2,335
退職給付に係る負債	5,767	5,959
役員退職慰労引当金	144	75
繰延税金負債	9	361
その他	62	63
固定負債合計	8,773	8,795
負債合計	51,496	48,740
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,392	11,392
資本剰余金	10,350	10,350
利益剰余金	82,443	85,083
自己株式	△442	△442
株主資本合計	103,743	106,383
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,465	2,105
為替換算調整勘定	825	1,253
退職給付に係る調整累計額	1,887	1,823
その他の包括利益累計額合計	4,178	5,182
非支配株主持分	8	8
純資産合計	107,930	111,574
負債純資産合計	159,426	160,314

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年12月31日)
売上高	62,508	63,063
売上原価	49,691	51,956
売上総利益	12,816	11,106
販売費及び一般管理費	5,443	6,050
営業利益	7,373	5,056
営業外収益		
受取利息	8	13
受取配当金	32	46
為替差益	—	97
スクラップ売却益	23	19
その他	43	112
営業外収益合計	107	289
営業外費用		
支払利息	15	12
租税公課	7	12
為替差損	69	—
保険解約損	—	8
その他	3	1
営業外費用合計	96	35
経常利益	7,384	5,311
特別利益		
固定資産売却益	1	0
補助金収入	25	476
その他	10	—
特別利益合計	36	477
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産処分損	0	40
特別損失合計	0	40
税金等調整前中間純利益	7,421	5,748
法人税、住民税及び事業税	2,308	1,460
法人税等調整額	11	263
法人税等合計	2,319	1,724
中間純利益	5,101	4,024
非支配株主に帰属する中間純利益	0	0
親会社株主に帰属する中間純利益	5,100	4,023

(中間連結包括利益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年12月31日)
中間純利益	5,101	4,024
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	486	639
為替換算調整勘定	△79	429
退職給付に係る調整額	△40	△63
その他の包括利益合計	367	1,005
中間包括利益	5,468	5,029
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	5,467	5,028
非支配株主に係る中間包括利益	1	1

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	7,421	5,748
減価償却費	1,436	1,625
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△88	△58
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	124	116
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3	△69
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△11	1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	28	8
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△13	△27
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	△116	—
受取利息及び受取配当金	△41	△60
支払利息	15	12
補助金収入	△25	△424
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	1,429	△3,606
契約負債の増減額 (△は減少)	△2,161	△267
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,535	△2,890
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,014	△55
前渡金の増減額 (△は増加)	△730	453
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△1,923	△2,528
未払又は未収消費税等の増減額	933	281
その他	472	220
小計	3,203	△1,522
利息及び配当金の受取額	41	53
利息の支払額	△16	△12
法人税等の支払額	△3,072	△2,182
営業活動によるキャッシュ・フロー	156	△3,663
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△227	△5,227
定期預金の払戻による収入	227	227
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△3,523	△3,194
有形固定資産の売却による収入	1	13
無形固定資産の取得による支出	△68	△89
補助金の受取額	25	424
その他	3	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,562	△7,855
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△453	△453
配当金の支払額	△1,657	△1,382
その他	△2	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,114	△1,837
現金及び現金同等物に係る換算差額	△51	342
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,572	△13,014
現金及び現金同等物の期首残高	46,894	45,291
現金及び現金同等物の中間期末残高	41,322	32,277

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	パッケージ ングプラ ント事業	メカトロ システム 事業	農業用設備 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	36,041	20,310	6,155	62,508	—	62,508
セグメント間の内部売上高 又は振替高	691	606	501	1,798	△1,798	—
計	36,732	20,917	6,656	64,306	△1,798	62,508
セグメント利益	6,123	1,510	869	8,503	△1,130	7,373

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,130百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,101百万円および棚卸資産等の調整額△28百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年7月1日 至 2025年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	パッケージ ングプラ ント事業	メカトロ システム 事業	農業用設備 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	42,177	15,745	5,140	63,063	—	63,063
セグメント間の内部売上高 又は振替高	251	571	241	1,063	△1,063	—
計	42,429	16,317	5,381	64,127	△1,063	63,063
セグメント利益又は損失(△)	6,524	△26	△204	6,293	△1,237	5,056

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,237百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,201百万円および棚卸資産等の調整額△35百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

3. その他

受注の状況

① セグメント別の受注高

（単位：百万円）

セグメントの名称	前中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年12月31日)	前年同期比
			%
パッケージングプラント事業	33,540	31,979	△4.7
（酒類用プラント）	（ 1,728 ）	（ 1,895 ）	（ +9.7 ）
（食品用プラント）	（ 22,131 ）	（ 22,644 ）	（ +2.3 ）
（薬品・化粧品用プラント）	（ 7,648 ）	（ 6,100 ）	（ △20.2 ）
（その他）	（ 2,031 ）	（ 1,337 ）	（ △34.2 ）
メカトロシステム事業	19,109	16,721	△12.5
農業用設備事業	3,642	4,798	+31.7
合 計	56,292	53,499	△5.0

② セグメント別の受注残高

（単位：百万円）

セグメントの名称	前中間連結会計期間 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年12月31日)	前年同期比
			%
パッケージングプラント事業	77,155	62,674	△18.8
（酒類用プラント）	（ 3,037 ）	（ 2,919 ）	（ △3.9 ）
（食品用プラント）	（ 49,656 ）	（ 39,215 ）	（ △21.0 ）
（薬品・化粧品用プラント）	（ 22,638 ）	（ 17,162 ）	（ △24.2 ）
（その他）	（ 1,823 ）	（ 3,376 ）	（ +85.1 ）
メカトロシステム事業	11,272	11,924	+5.8
農業用設備事業	7,186	9,016	+25.5
合 計	95,614	83,615	△12.5